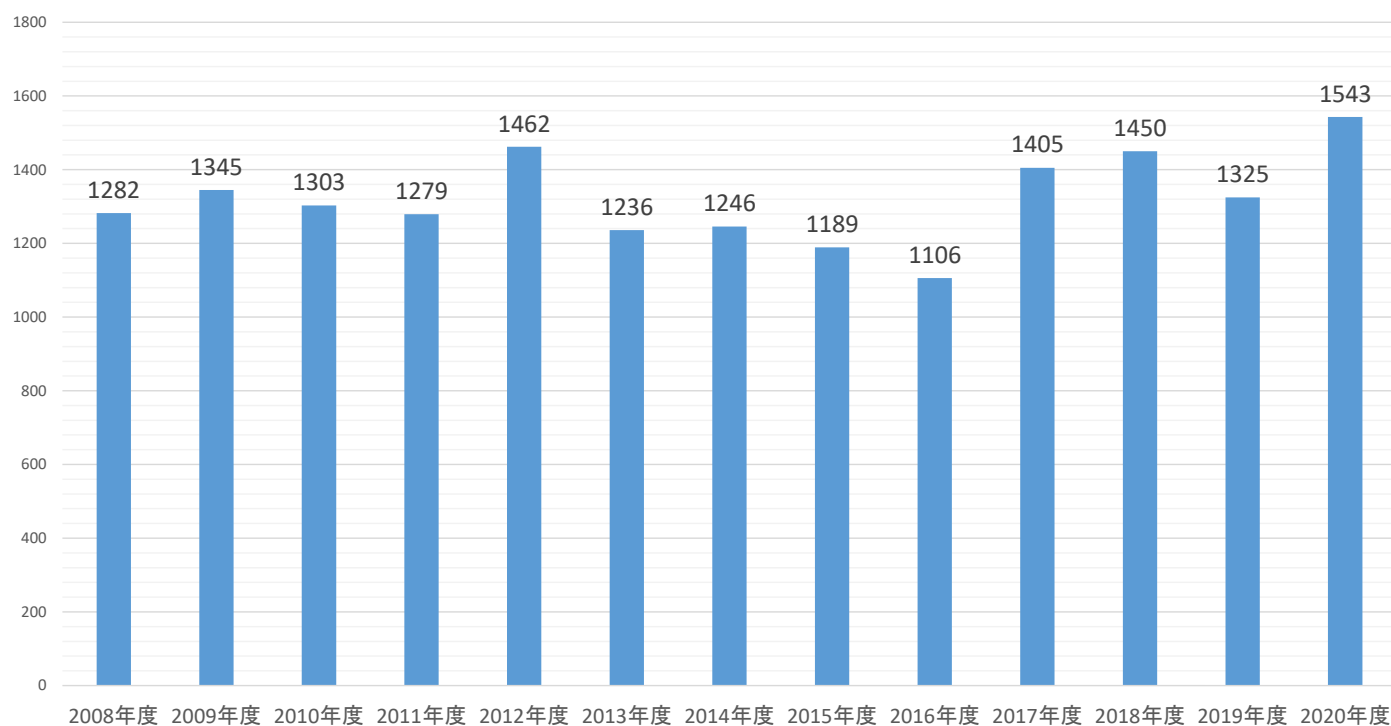


インシデントレポート提出数 年度別比較



転倒転落^{※1}発生状況・率(%)

項目 \ 年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
転倒転落数(人)	136人	139人	108人	139人
取扱入院数(人)	64,528人	63,826人	64,532人	53,647人
転倒転落率(%)	2.11%	2.18%	1.67%	2.59%

参考: 2017年度日本病院会QI(Quality Indicator)調査参加病院(全国347病院) 転倒転落率平均 2.71%

※1: 医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2以上の転倒・転落件数でQI調査と同様に入院中患者のみ集計

—損傷レベル— (The Joint Commission の定義)

- なし 患者に損傷はなかった
- 軽度 包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
- 中軽度 縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
- 重度 手術、ギプス、牽引、骨折を招いた・必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷の診察が必要となった
- 死亡 転倒による損傷の結果、患者が死亡した